

アスベスト対策を市長に申し入れ

党市議団は05年7月29日、市長にアスベスト(石綿)問題について市民の安全を守る緊急調査、対策についての申し入れをおこないました。市民の不安を取り除く安全対策と健康被害者への救済対策です。三鷹市では、公共施設のすべてを調査し、緊急除去対策をはじめています。党市議団は、さらに民間での対策、中高層については解体説明会を住民に行なう条例改正など求めてとりくんでいます。

シュツと入って機械で整理、 機械式立体駐輪場を実現

党議員団は、神奈川県海老名市に最新の機械式立体駐輪場を視察し、三鷹駅駅前の駐輪場不足、放置自転車問題解決の対策として市に提案しました。05年度すずかけ駐輪場として実現しました。自転車を持って行くとシュツと機械で吸い込まれ堅穴式の機械で収納管理。雨にもぬれず、盗難も心配いりません。1つの機械で180台、すずかけ駐輪場はこれまでの580台から1700台収納と増えました。

マンションの高さを制限—住民運動から条例改正へ

三鷹市はマンションが急増し、住環境の破壊から生活を守ろうと住民運動が多くあり、党議員団は20数件も相談を受けました。また、5年間で800名の乳児幼児の増加で保育園や学童保育所の不足も目立っています。党議員団は、まちづくり条例の強化を提案質問し、01年10月に市は環境配慮制度を導入し、04年6月には、マンションの高さを制限する都市計画用途変更を行いました。市内の大学の用地にマンション計画がもちあがり住民運動と連携し、これを中止させ、「学校用地には学校を」と高校を誘致し、さらに地区計画を指定して緑の保全も図ることになりました。

さらに、中高層建築物の建替えに伴う解体工事について、付近住民への説明を義務付ける条例改正を求める質問も行ないました。



「日照を奪うな」と住民集会が行われました

トラック、大型車の激流—外環道路

国土交通省と東京都は05年9月16日、「東京外かく環状道路についての考え方」を発表しました。大深度地下を活用して、中央高速道路に接続、出入り口として東八道路からインターチェンジもつくる案です。北野の中央で中央高速と大規模なジャンクションでつながる三鷹では、道路は地上部を走り、排ガスを地上に吐き出す換気所が2つ作られます。北野小学校や第五中学校から100メートルも離れていません。外環への車の集中で市内は慢性的な交通渋滞と大気汚染、騒音公害、コミュニティが分断されます。「自動車の洪水から子ども、環境を守ろう」「外環道路より安全な生活道路を」の市民の声を国、都に届け、全力でがんばります。

車社会からの転換で、住・環境を守る運動を—調布保谷線について

三鷹市内の沿道の買収がおこなわれ、立ち退き問題がおきています。また、玉川上水の自然環境の破壊も懸念されます。10m幅の環境施設帯で住・環境が守られるのか不安です。東京都はこれまで960億円もの予算をかけ、あと400億円は必要とのことです。車社会からの転換と住・環境を守る運動をすすめます。



コミュニティバスの 改善をめざして

党議員団では、「ワンコイン・料金100円」実現にむけ署名運動に取り組み、当時の安田市長に要望しました。また、議会でも一番多く質問し、04年12月議会で、「どうすれば、実現可能か真剣に検討する」の市長答弁をついに引き出すことができ、実現にあと一歩です。また、上連雀一丁目や中原、など交通不便地域の解消、既存バス路線の牟礼・山中・大沢など延伸改善をとりあげています。

野草公園に存続!

玉川上水の脇にある育英会跡地を緑地に残そう、議会での質問や関係省庁との交渉など住民運動と連携し保存されました。